

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 4月 13日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	59 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	あり・なし		
責任教員	黒宮泰明	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮
役割分担			
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	フィリピンの諸情報・概要		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピンについての現状を理解し, 現在どのような政策をとっているか, また経済状態, 民族構成, 主な産業などについて, 歴史を交えながら講義した。		
受講者の反応	積極的に講義に参加していた。		
事後指導	グループワークをするために生徒から, 聞き取りを行った。		
反省・課題			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) フィリピンについての現状を理解し, 現在どのような政策をとっているか, また経済状態, 民族構成, 主な産業などについて, 歴史を交えながらの講義。		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には, 必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や, 新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付, もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 4月 20日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	59 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	あり・なし		
責任教員	黒宮泰明	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮
役割分担	講義 黒宮 生徒指導 Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木		
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	過去のビジネスプランの紹介 ビジネスモデル・キャンパスの作り方		
備考・その他			
実施報告			
内容	過去のビジネスプランの紹介 ビジネスモデル・キャンパスの作り方		
受講者の反応	積極的に講義に参加していた。		
事後指導	フィリピンの課題やどのようなビジネスが可能かを考えさせた。		
反省・課題			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 3限目 過去のフィリピンにおけるビジネスプランの紹介, TTビズの紹介 4限目 KOA I のニデックチャレンジで使用したビジネスモデル・キャンパスについて再度内容を確認した後, ビジネスモデルの内容を詳しく解説した。 特にこのビジネスモデル・キャンパスを利用することで, ビジネスの種類に関係なく全構成要素を1枚の用紙にまとめることで, 要素間の相関性や問題を「見える化」することができることを再確認した。		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	沢井 拓 (JXTGエネルギー(株))		
実施日時	令和 5年 4月 22日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 5年 4月 22日 9時 30分
来校方法	新幹線・JR・バス		
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	58 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	ありなし		
責任教員	黒宮泰明	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木 黒宮
役割分担	講義 黒宮	生徒指導	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	企業について考える		
備考・その他			
実施報告			
内容	外部講師 JXTGエネルギー(株) 沢井拓様にご来校頂き, 企業について講義いただいた。また, オンラインを用いて現在進行中のビジネスである「次世代養蚕」によるSDGs貢献活動についてアイザワ養蚕の相澤様にもご参加いただいた。		
受講者の反応	質疑応答のところでは特に様々な質問が出ることで大いに盛り上がった。		
事後指導	新たなビジネスの可能性を考えさせた		
反省・課題			
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 1限目 過去のフィリピンにおけるビジネスプランの紹介 2~4限目 外部講師 JXTGエネルギー(株) 沢井拓様にご来校頂き, 「起業について」のタイトルで講義いただいた。 2限目はまず, 沢井様の経歴, 特に様々な起業をしてきたこと, ビジネスプランの作成過程などを黒宮と沢井さまのやり取りで講義が始まった。 3,4時間目は「アシザワ養蚕」の芦澤様と現在進行中の「ギガモスラの挑戦」と銘打った「次世代養蚕」によるSDGs貢献活動についてオンラインをつないで講義いただいた。その中で, ビジネスを立ち上げるうえで必要な人材・場所・条件・機材・道具などビジネスプランの企画だけではなく, 実際にどのように活動していくことが必要なのかなど詳しくお話いただいた。 今までの講義よりもかなり企業をするうえで, どんなことが必要かなど具体的なことが多かったため, 多くの生徒から質問がでた。そのため, 最後は時間を延長していただき, 質問に答えていただくことになった。 終了時間 13:00		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には, 必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や, 新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付, もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 4月 27日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	57 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	あり・なし		
責任教員	Denes	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮
役割分担	生徒指導 Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮		
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	チーム決め チーム内ディスカッション		
備考・その他			
実施報告			
内容	チーム決め チーム内ディスカッション		
受講者の反応	積極的に講義に参加していた。		
事後指導	フィリピンの課題やどのようなビジネスが可能かを考えさせた。		
反省・課題			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目)		
<p>3限目, 4限目 チームを決めた。 1年次のニデックチャレンジ(ベトナムビジネスプラン)でのチームはAiGROWを用いてそれぞれの基質を鑑みたくて編成したが, 多くの生徒から自らチームを決めたいとの声が上がった。 ビジネスの方向性や内容など生徒同士ディスカッションさせ最大5人を限度にチームを決めた。その中でなかなかチームに入れない生徒, 休んでいた生徒などチームを決めるうえでの課題も出てきた。 4時間目の終わりには, 一通りチームが決まったのでチーム内でディスカッションを行った。</p>			
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には, 必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や, 新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付, もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン			
講演者・指導者氏名(所属)	()			
実施日時	令和 5年 5月 11日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA II	受講対象	国際コース	受講人数 51 人
実施場所	中教室	使用備品	マイク	謝礼 あり・なし
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮	
役割分担	講義 黒宮 生徒指導 Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木			
目的	フィリピンの現状を知り、その国でのビジネスプランを考える			
講演・講義の概要	フィリピンにむけたビジネスプランを提案する その際、ビジネスモデル・キャンパスを意識させる			
備考・その他				
実施報告				
内容	フィリピンにむけたビジネスプランを各チームで作成する。			
受講者の反応	積極的に参加していた。			
事後指導	発表までは常に必要な声掛けをする			
反省・課題	チーム数に対して指導教員の人数が少ない。			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) ・各チームごとにディスカッションし、ビジネスプランを作成する。 ・プレゼンテーションの作成(英語) プレゼンテーションは8分以内 ビジネスモデル・キャンパスを意識したプレゼンにする 発表言語(英語)の指導 * 欠席が多いのはベトナムフィールドトリップ期間中だったのと、ビザ申請にいった生徒がいたためである			
報告者	中西 文恵			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 5月 13日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	51 人		
実施場所	中教室	使用備品	
謝礼	あり・なし		
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木 黒宮
役割分担	生徒指導 Denes 川口 中西文 茨木 黒宮		
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	フィリピンにむけたビジネスプランを提案する その際、ビジネスモデル・キャンパスを意識させる		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピンにむけたビジネスプランを各チームで作成する。		
受講者の反応	チームの中でディスカッションを積極的に行っていた。		
事後指導	新たなビジネスの可能性を考えさせた。発表までは常に必要な声掛けをした。		
反省・課題	チーム数に対して指導教員の人数が少ない。		
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目)		
	<ul style="list-style-type: none"> 各チームごとにディスカッションし、ビジネスプランを作成する。 プレゼンテーションの作成(英語) プレゼンテーションは8分以内 ビジネスモデル・キャンパスを意識したプレゼンにする 発表言語(英語)の指導 		
	* 欠席が多いのはベトナムフィールドトリップ期間中だったのと、ビザ申請にいった生徒がいたためである		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン			
講演者・指導者氏名(所属)	()			
実施日時	令和 5年 4月 20日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA II	受講対象	国際コース	受講人数 55 人
実施場所	中教室	使用備品	マイク	謝礼 あり・なし
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮	
役割分担	生徒指導 Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮			
目的	フィリピンの現状を知り、その国でのビジネスプランを考える			
講演・講義の概要	フィリピンにむけたビジネスプランを提案する その際、ビジネスモデル・キャンパスを意識させる			
備考・その他				
実施報告				
内容	フィリピンにむけたビジネスプランを各チームで作成する。			
受講者の反応	積極的に参加していた。			
事後指導	発表までは常に必要な声掛けをする			
反省・課題	チーム数に対して指導教員の人数が少ない。			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) ・各チームごとにディスカッションし、ビジネスプランを作成する。 ・プレゼンテーションの作成(英語) プレゼンテーションは8分以内 ビジネスモデル・キャンパスを意識したプレゼンにする 発表言語(英語)の指導			
報告者	中西 文恵			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピン セントポベタカレッジの独自カリキュラム タラバンの導入		
講演者・指導者氏名(所属)	セントポベタカレッジ アンソニー・アペリン氏 (セントポベタカレッジ教員)		
実施日時	令和 5年 5月 27日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
責任教員	茨木	担当教員	Denes 川口 茨木
役割分担	Denes 川口 Lafdal 茨木		
目的	セントポベタカレッジ校のカリキュラムの学習		
講演・講義の概要	セントポベタカレッジ校の設立の目的など		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピン セントポベタカレッジ校と本校を結んでオンラインにて、アンソニー先生の講義を聞く。学校の成り立ちと設立者のお話を講義していただいた。		
受講者の反応	生徒たちはフィリピンの英語のため、理解するのに苦労していた。		
事後指導	フィリピン ポベタ校への理解が一層深まった。		
反省・課題			
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 1限目 セント ペドロ ポベタ カレッジ の概要について予習した。 2~4限目 フィリピンの交流校である ポベタ校の創立から、教育理念など理解が一層深まった。 また、ポベタ校が取り組んでいる「タラバン」についての理解を深めた		
報告者	川口 好朗		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 6月 1日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	58 人		
実施場所	中教室	使用備品	マイク
謝礼	あり・なし		
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木 黒宮
役割分担	講義 黒宮 生徒指導 Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木		
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	フィリピンにむけたビジネスプランを提案する その際、ビジネスモデル・キャンパスを意識させる		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピンにむけたビジネスプランを各チームで作成する。		
受講者の反応	積極的に参加していた。		
事後指導	発表までは常に必要な声掛けをする		
反省・課題	チーム数に対して指導教員の人数が少ない。		
記録欄	<p>10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各チームごとにディスカッションし、ビジネスプランを作成する。 プレゼンテーションの作成(英語) プレゼンテーションは8分以内 ビジネスモデル・キャンパスを意識したプレゼンにする 発表言語(英語)の指導 プレゼンテーションの発表練習 質疑応答を含め約10分になるようにした。 プレゼンテーションをPDFにしたうえで、メールで提出 提出はチームに一人になるように、基本はリーダーにさせた。 また、PDFでの提出はGoogle slide 以外にも他のツールを使っている場合他のパソコンで開いた場合、形状が崩れることがあるのですべてPDFでの提出をさせた。ただし、動画などを使用する場合は予め申告するようにさせた。 		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	フィリピンビジネスプラン		
講演者・指導者氏名(所属)	沢井 拓 (JXTGエネルギー(株))		
実施日時	令和 5年 6月 3日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分 来校方法
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
実施場所	翠嵐館ホール	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木 黒宮
役割分担	生徒指導 Denes 川口 中西文 茨木 黒宮 プロジェクター等準備 Denes 中西文 時計係・司会 中西文		
目的	フィリピンの現状を知り, その国でのビジネスプランを考える		
講演・講義の概要	フィリピンビジネスプランの発表		
備考・その他			
実施報告			
内容	フィリピンビジネスプランの発表		
受講者の反応	各チームに対する質疑応答を積極的に行っていた。		
事後指導	各班に対するルーブリックによる評価を行った。		
反省・課題	最後の講評ができなかった		
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目)		
1限目	<ul style="list-style-type: none"> 発表前の最終確認 スライド準備 発表練習等 		
2~4限目	<ul style="list-style-type: none"> 各班の発表 発表時間8分 質疑応答2分程度 各班最大15分以内におさめるようにした。 		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
 * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	自分なりのAIについて伝えてみる		
講演者・指導者氏名(所属)	石崎 優 (EMPAG Pte.,Ltd.CEO)		
実施日時	令和 5年 6月 10日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 5年 4月 22日 9時 30分
来校方法	新幹線・JR・バス		
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	59 人		
実施場所	視聴覚教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	ありなし		
責任教員	茨木	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木
役割分担	Denes 川口 中西文 茨木		
目的	課題への取り組み方と生成AIについて学ぶ		
講演・講義の概要	課題への取り組み方と生成AIについて学ぶ		
備考・その他			
実施報告			
内容	外部講師 EMPAG Pte.,Ltd.CEO 石崎様にご来校頂き、課題への取り組み方と生成AIについて講義いただいた。		
受講者の反応	質疑応答のところでは特に企業についてなどの様々な質問が出ることで大いに盛り上がった。		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目)		
	1~4限目 外部講師 EMPAG Pte.,Ltd.CEO 石崎様にご来校頂き、課題への取り組み方と生成AIについて「自分なりのAIについて伝えてみる」のタイトルで講義いただいた。		
	課題解決の7ステップ 1 Define Problem 2 Structure Problem 3 Prioritize issues 4 Develop issue analysis and work plan 5 Conduct analyses 6 Synthesize findings 7 Develop recommendation		
	ピラミッドストラクチャー ピラミッドストラクチャー(ピラミッド構造)とは、論理展開に役立つフレームワークの一種である。主張とその根拠をピラミッド状の図にまとめることで、情報を整理して伝えられるのが特徴。 ファクト・事実(裾野) → 意味合い(中腹) → 結論・メッセージ(頂点)		
	報告者	中西 文恵	

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
* 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	over seas writing について		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 6月 15日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法			
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	54 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	あり・なし		
責任教員	Denes Lafdal	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木
役割分担	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木		
目的	over seas writing の説明		
講演・講義の概要	留学中に提出するessayの説明		
備考・その他			
実施報告			
内容	留学中に提出するessayの説明		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 留学中に提出するessayの説明 essayの構成 提出の仕方 内容について 昨年度の成果集より3年生が提出したessay(卒業論文)をGoogleclassroomにあげ、確認した。		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	生成AIとプログラミングについて学ぶ		
講演者・指導者氏名(所属)	福原正弘先生 (慶応義塾大学経済学部特任教授)		
実施日時	令和 5年 6月 24日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法	新幹線 タクシー		
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
受講人数	55 人		
実施場所	中教室	使用備品	プロジェクター マイク
謝礼	ありなし		
責任教員	茨木	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木
役割分担	Denes 川口 中西文 茨木		
目的	生成AIとプログラミングについて学ぶ		
講演・講義の概要	生成AIとプログラミングについて学ぶ		
備考・その他			
実施報告			
内容	インターナショナルフェスティバルの準備 福原先生の講義		
受講者の反応	福原先生の講義に関しては非常に生徒の反応もよく、多くの質問が出た。		
事後指導			
反省・課題			
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 1~3限目 インターナショナルフェスティバルに向けての準備 4限目 福原先生の講義 人とAIの違いは本質的なことを自ら考えられることによる。その中でchatGPTなどの生成AIをどのように利用及び活用していくのかを生徒との質疑応答を通してご講義いただいた。		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項			
演題・講義内容	over seas writingについて		
講演者・指導者氏名(所属)	()		
実施日時	令和 5年 7月 8日 8時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分
来校方法	新幹線 タクシー	受講人数	59 人
授業名	KOA II	受講対象	国際コース
実施場所	中教室	使用備品	謝礼 あり・なし
責任教員	Denes 中西文	担当教員	Denes 川口 中西文 茨木
役割分担	Denes 川口 中西文 茨木		
目的	留学中のessayのテーマを決める		
講演・講義の概要	留学中のessayのテーマを決める		
備考・その他			
実施報告			
内容	インターナショナルフェスティバルの準備 留学中のessayのテーマを決める		
受講者の反応			
事後指導			
反省・課題			
記録欄	8:55~9:45(1時間目) 9:55~10:45(2時間目) 10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 1~2限目 インターナショナルフェスティバルに向けての準備 3~4限目 留学中のessayのテーマを決める 提出の仕方や書き方などの指導 これが3年次の卒業論文になることを意識させた		
報告者	中西 文恵		

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を

No. _____

令和 年 月 日

WWLコンソーシアム構築支援事業 実施プログラムの概要並びに実施報告書 【様式1】

実施要項				
演題・講義内容	over seas writing について			
講演者・指導者氏名(所属)	()			
実施日時	令和 5年 7月 13日 10時 55分 ~ 12 時 45分	外部講師来校日時	令和 年 月 日 時 分	来校方法
授業名	KOA II	受講対象	国際コース	受講人数 54 人
実施場所	中教室	使用備品	マイク	謝礼 あり・なし
責任教員	橋本千佳	担当教員	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木	
役割分担	Denes 川口 中西文 Lafdal 茨木			
目的	over seas writing			
講演・講義の概要	留学中に提出するessayのテーマを決める			
備考・その他				
実施報告				
内容	留学中に提出するessayのテーマを決める			
受講者の反応				
事後指導				
反省・課題				
記録欄	10:55~11:45(3時間目) 11:55~12:45(4時間目) 留学中に提出するessayの説明 テーマを決める 内容について 昨年度の成果集より3年生が提出したessay(卒業論文)をGoogleclassroomにあげ、各自で確認した。			
報告者	中西 文恵			

- * WWL事業に関して外部から講師を招聘する場合には、必ず前週までに運営委員会にて本書類を審議すること。
- * 「記録欄」には当日の様子を撮影した写真や、新聞などに掲載された場合はその記事等を貼付、もしくはプログラムの詳細を